

2015年4月24日 第50号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター

文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)

http://www.kvodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

5. 3憲法集会にあつまろう！

首都圏では新たな共同のひろがり、2万人規模の集会が開催されます。5月3日は、全国各地で憲法集会やパレードを大きく成功させましょう！

◆首都圏での5. 3憲法集会◆

日時 5月3日(日) 12:30~15:30

会場 臨港パーク(横浜みなとみらい地区)

最寄駅 みなとみらい線「みなとみらい」駅

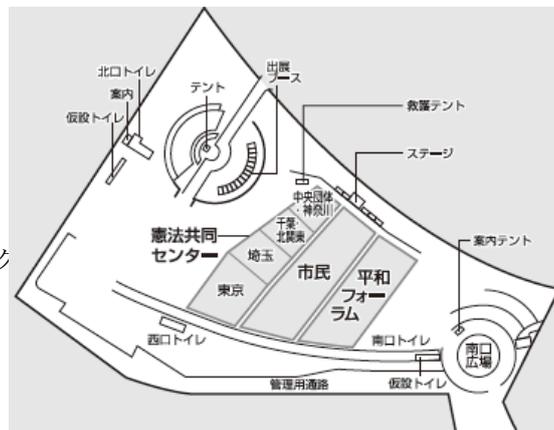
JR京浜東北線「桜木町」駅

内容 お話し(大江健三郎さん他) 政党の発言 リレートーク
クロージングコンサート(クミコ、こぐれみわぞう)

※参加者全体でのデモは実施しません。

主催 平和といのちと人権を！5. 3憲法集会実行委員会

※広告経費、集会経費のカンパにご協力下さい。



各団体からのよびかけ NO.6 (最終回) *各団体代表者のメッセージを紹介してきました



農民運動全国連合会会長

白石淳一さん

70年前の戦争で300万人以上の日本人が戦場でなくなり、その半数以上が飢えて死んでいきました。そしてその多くは軍服を着た農民でした。農家の家を訪ねると仏間には軍服を着た遺影が見られます。働き手を奪われ、年寄りと女性、子どもだけで、過酷な農作業を支えてきた農村も、供出で食料を取り上げられ、ひもじい生活をしいられてきました。戦争は二度と起こしてはいけない、そのことが戦争体験者の共通の思いではないでしょうか。

ところが安倍内閣は、自衛隊をいつでも、世界中どこへでも、どんな戦争にも派遣できる戦争立法の準備を進めています。

農民連は、「安全な食料は日本の大地から」「日本には農業と農村が必要だ」をスローガンに、国民の食料と健康、日本の農業を守るために活動してきました。この対極である戦争には断固反対です。

安倍政権が危険な道へ猛進しています。「戦争する国づくり」のための法はいりません。

4. 17緊急学習会に90人

憲法共同センターと自由法曹団は、全国で「戦争立法」について「知って知らせる行動」を呼びかけ、4月17日(金)田中隆弁護士(自由法曹団常任幹事)を迎え「戦争法制ストップ！緊急学習会」を開催し、90人が参加しました。

「戦争法制が生み出す国… 7.1閣議決定の撤回と法制化の中止を求める」と題しての講演で、戦争法制の背景とねらいはなにか、戦争法とどう対抗するかなどについて学びました。

[田中弁護士の講演の動画・レジュメは憲法共同センターHPに掲載しています。](#)



